

令和3年9月20～22日に広島大学生物生産学部生67名が竹原市賀茂川河口ハチの干潟で「フィールド科学演習」の干潟観察会を行いました。ハクセンシオマネキやカブトガニなどの干潟の生物の観察を通じて、干潟の生物の多様性とその役割を学びました。

本実習は新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮して行われました。



アナジャコ類の巣穴の説明



ハクセンシオマネキの観察



干潟での生物採集



採集した生物の解説



カブトガニを手にとって観察する学生